



友 情



発行日 令和7年3月5日
発 行 長浜市スポーツ少年団

編集責任者 長浜市スポーツ少年団
保護者連絡協議会

長浜市スポーツ少年団関係者の皆様には、スポーツを通して、青少年の健全育成に多大なるご尽力をいただき、心より感謝申しあげます。

また、日頃からスポーツ少年団の活動を支えてくださる指導者の皆様、温かいご支援・ご協力をいただいている保護者の皆様に心か



「友情」発刊によせて

長浜市教育委員会
教育長 織田 恭淳

ら敬意を表します。

さて、今年には滋賀県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、本市においても柔道をはじめ様々な競技が行われます。

この機会にぜひ、「ラーケション」も使いながら、子どもたちに大会を観戦してもらい、迫力のある試合を体感してもらいたいと思

います。競技そのものの楽しさはもちろんのこと、選手たちの絆や相手をリスペクトする姿を目の当たりにする貴重な機会であり、多くの感動と発見に満ちていることでしょう。

スポーツ少年団の活動も前述と同様に仲間との絆やフェアプレーの精神を育む貴重な機会であり、この経験は、子どもたちの成長にとって大きな財産となります。スポーツの持つ感動や情熱を糧に、夢に向かって大きく羽ばたいてくれることを願っています。

各地区団並びに単位団の指導者保護者の皆様方には、スポーツ少年団の育成事業に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍で中止いたしました鹿児島県西之表市との友好都市交流事業を四年ぶりに再開することができ、参加してくれました子どもたちにとっては大変貴重で有意義な体験だったと思います。

また昨年夏に開催されたパリオリンピックでの日本選手団の躍進は、国民に感動と勇気を与えてくれました。さらにアメリカMLB

Bの大谷選手の活躍は驚愕で、日本人として誇りに思うとともに更なる高みに挑戦してくれることを願います。いずれのトップアスリートの手も、ほとんどの方が小学校ではスポ少に入っており、少年期はスポーツを通じて楽しくオモシロイ運動体験をしたことが現在につながっていると語っておられます。今年も地元滋賀県で国スポ、障スポが開催され、各競技のトップアスリートが一同に集まりトップレベルの競技スポーツを見る機会が増えて感動すると思います。是非とも観戦してください。当市スポ少では、指導者保護者



「スポーツは楽しくてオモシロイもの」

長浜市スポーツ少年団
本部長 八田 忠士

すでに入団しておられる団員の皆様方には、自分の目標を掲げていただき、更なる活躍を願います。

まだ入団しておらず運動をしてみたいとお思いの児童の皆さん、本市にはたくさんのお子さん、本市にはたくさんのお子さん、単位団があり自分にあつた団を見つけていただき、一人でも多くの子どもたちが入団してくれることを心より歓迎します。

研修会等で勝利至上主義に偏らない指導で、子どもたち保護者の皆さまに負担のかからない子ども目線の団運営、組織作りを目指して研鑽しております。スポーツ少年団の活動理念であるスポーツによる青少年の健全育成に立ち、単位団の活動、運営が保護者と学校と地域の皆様の理解が得られるように、行事試合等の日程調整をお願いしております。

「あくしゆ、あいさつ、ありがとう」

湖国の感動 未来へつなぐ

第79回国民スポーツ大会
2025年 9月28日(日)～10月 8日(水)

第24回全国障害者スポーツ大会
2025年10月25日(土)～10月27日(月)

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025

正式競技 柔道

ソフトテニス

相撲

公開競技 ゲートボール

障スポ フットソフトボール

ビーチバレーボール

オープンウォータースイミング

デモンストレーションスポーツ ユニカール

長浜市開催競技

長浜市スポーツ少年団フェアプレイ宣言

「あくしゆ、あいさつ、ありがとう」

フェアプレイで日本を元気に

誰もができて、誰もが気持ち良くなる行動。そして、スポーツをしている時も、していない時もできる行動。「あくしゆ、あいさつ、ありがとう」を広げていきます。「あくしゆ、あいさつ、ありがとう」が当然のように行われている町が増えれば、きっと日本はもっと元気になるはずです。

国スポ・障スポ 長浜市ホームページ

令和6年度みんなの少年団活動

「諦めない心が教えてくれたこと」

長浜市ユニアバドミントンクラブポーツ少年団
6年 多賀 莉菜

滋賀県スポーツ少年大会への参加を通じて、プロ選手から「諦めない姿勢」の重要性を学び、卓球バレー体験では普段の生活への感謝を深めました。この経験は自分の行動や考え方を見直す大きなきっかけとなりました。仲間や指導者との絆を大切にしながら、得た学びを今後の活動に活かしていきたいと考えています。感謝の気持ちと挑戦する姿勢を忘れずに、これからも努力を続け、自分自身の成長を目指していきます。



最高の四日間

長浜市陸上スポーツ少年団
6年 大橋 佳来

私は、西之表市・長浜市スポーツ交流会で種子島に行けることをとても楽しみにしていました。実際に種子島に来てみると楽しいことがたくさんありました。例えばマングローブやヤックや宇宙センター、浦田海水浴場です。どれも長浜市では体験できないことで心に残っています。特に思い出に残ったことは浦田海水浴場と宇宙センターに行ったことです。浦田海水浴場は、海や砂浜がとてもきれいで感動しました。宇宙センターでは、ロケットの発射台を見ました。

お世話になった七夏ちゃんの家は七人兄弟でした。すぐにみんなと仲良くなってトランプで遊んだり、夜にはスイカ割りをしました。みんなとご飯を食べている時は、たくさんしゃべったりしてにぎやかでした。帰りには畑で育てたお米をもらいました。もらったお米はもちもちでとてもおいしかったです。七夏ちゃんの家



と過ごした時間はとても楽しかったです。最高の四日間でした。

「スポーツ少年団交流大会に参加して」

浅井柔道スポーツ少年団
6年 草野 祐希

ぼくが交流大会に参加して心に残ったことは、ぼくが入っている浅井柔道スポーツ少年団の先ばいである井上愛翔選手が来て下さって、ぼくたちの前でいろいろな経験してこられたことを話してくれたことや、他のスポーツ少年団に入っている学校の友達に学校以外で会えたことです。

井上選手や友達と、けん玉や竹馬の体験をいっしょにできてとても楽しかったです。柔道の練習はきびしくて逃げ出したいと思うこともあるけれど、がんばっている仲間がいるので、これからもがんばろうと思います。



ジュニア・リーダー スクールに参加して

余呉地区スポーツ少年団
5年 伊吹 悠

ぼくは、はじめてジュニア・リーダースクールという研修会に参加して、とても良い経験ができたなと思いました。たくさん友達を作ることができました。ぼくは、ただリーダーの役割はみんなをまとめるだけのことだと思っていました。だけど、「リーダーはどのようなことをする？」という話を聞いて、大変さがよく伝わってきました。ぼくは今キャプテンをしているので、研修会で勉強したことを思い出しながら、残り一年間みんなをまとめて、キャプテンの仕事をしつかりとできるように頑張っていきたいです。



スポーツ少年団活動に望むこと

高月地区スポーツ少年団
保護者 堤 優子

子どもの成長を見守る中で、スポーツ少年団への期待はますます高まっています。私たち保護者にとっても、子どもが仲間と共に汗を流し競い合うことは非常に大切な経験です。スポーツ少年団は、体力向上だけでなくチームワークやコミュニケーション能力を育む場でもあります。勝利の喜びや敗北から学ぶことで、自身や忍耐力も身につくと考えます。また、地域とのつながりが強化されることで大人同士のサポート体制も生まれます。今後もスポーツ少年団が、学校や家庭ではできない多様な経験を提供しながら子どもたちが健康で豊かな成長を遂げられるよう、支えてくれることを心から願っています。



スポーツ少年団って どんな団体？

- ①だれが=子どもたちが
- ②いつ=自由時間に
- ③どこで=地域社会で
- ④なにを=幅広いスポーツ活動を
- ⑤どのようにして=グループ活動で行っている団体です。

スポーツ少年団は、学校時間や家庭時間を除く自由時間に行い、活動拠点は学校内ではなく、地域社会の中にあります。また、スポーツ活動ばかりではなく、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動など幅広く捉えている団体です。

長浜市スポーツ少年団の構成および人数 (令和6年度登録)

登録団			登録団員		
地区団	単位団	合計	男子	女子	合計
14	8	22	998	500	1,498

長浜市スポーツ少年団では、それぞれの地域での団員を募集しています。お問い合わせは長浜市民体育館内事務局まで。(TEL 63-9806)
HP : nagahama-sports.com/web/syounendan/



長浜市 スポーツ 少年団

指導者・保護者(育成母集団) 合同研修会



指導者と保護者が合同で、スポーツ少年団活動の基本理念を互いに共有するための研修会。
対象：指導者、保護者

活動は何してるの？

4月 長浜市スポーツ少年団結団式

市内スポーツ少年団の団員が一堂に会し、親睦を深めながら新年度の活動を開始する式典。

対象：全団員



10月 長浜市スポーツ少年団交流大会

市内スポーツ少年団の団員がレクリエーションを通して、市内他のチームの団員と交流し、親睦を深める事業。

対象：全団員、指導者、保護者および一般



夏・冬 友好都市少年スポーツ交流事業

鉄砲がとりもつ縁で、長浜市と鹿児島県にある種子島(西之表市)との交流が始まり、友好都市盟約が締結。

その後、スポーツ少年団による相互交流が始まり、ホームステイをくり返しながら30年経った今でも交流が続いている事業。

対象：小学校4年生から6年生までの登録団員



みんないっしょに
スポーツしよう!!

長浜市スポーツ少年団登録団紹介

競技	種目	団名	
球技	バドミントン	長浜 JBC	
	ソフトテニス	木之本地区	
	ソフトボール	長浜地区	長浜地区
		軟式野球	長浜北地区 神照地区 南郷里地区 長浜南地区 浅井西 浅井中部 びわ地区 湖北地区 高月地区 木之本地区 西浅井地区
	サッカー	長浜 FAC	長浜北地区 神照地区 長浜南地区 びわ地区 湖北地区

競技	種目	団名		
球技	バレーボール	南郷里地区 神照地区 長浜南地区 びわ地区 虎姫地区 湖北地区 高月地区 余呉地区 西浅井地区		
		バスケットボール	長浜地区 長浜北地区 神照地区 南郷里地区 長浜南地区 浅井西 浅井中部 びわ地区 湖北地区	
			陸上	長浜市陸上 浅井陸上クラブ

競技	種目	団名		
武道	弓道	長浜弓道		
	空手道	国際真武門		
		虎姫地区		
	剣道	湖北地区 長浜柔道 浅井柔道 湖北地区 高月地区		
		柔道	びわ地区 高月地区 余呉地区	
			少林寺拳法	高月地区 余呉地区
				複合

(令和6年度登録)

ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)

子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かせる。それがアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)です。日本スポーツ協会が、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして、アクティブ・チャイルド・プログラムを開発しました。JSPO日本スポーツ協会のサイトへアクセスしていただくとACPのいろんな「運動あそび」があります。ご自宅でもできるあそびもありますので、是非ご利用ください。

子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かせる。それがアクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)です。日本スポーツ協会が、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムとして、アクティブ・チャイルド・プログラムを開発しました。JSPO日本スポーツ協会のサイトへアクセスしていただくとACPのいろんな「運動あそび」があります。ご自宅でもできるあそびもありますので、是非ご利用ください。

出典：公益財団法人日本スポーツ協会 HP 「JSPO-ACP 総合サイト」 URL (https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/acp/index.html)

日本スポーツ少年団顕彰を 受賞して

南郷里地区スポーツ少年団
団長 松井 清市

この度、この様な賞を頂きまして、改めて身の引き締まる思いです。長年スポーツ少年団活動に関わってこられたのは仲間の指導者、保護者、家族の理解や協力があつての事と感謝しています。スポーツ部部の指導者として三十年が過ぎました。当初は試合を重ねるごとに成長していく子ども達を見ていくと、つい試合に勝つ事ばかりの指導になっていきましたが、「スポーツは楽しいものではない」と学び、今では勝利優先の活動ではなく楽しい活動を目指しています。

子どもたちの コミュニケーション

南郷里地区スポーツ少年団
ミニバス
指導者 岩崎 康彦

子どもたちとの活動の中で挨拶が出来る団員づくりを目標に取り組んでいます。

「挨拶」は、良いコミュニケーションの第一歩です。まずは指導者から子どもたちに笑顔で挨拶をすることで、明るい挨拶が飛び交う環境が生まれ、チームの雰囲気も良くなっていきます。技術の向上だけでなく、スポーツを通じてコミュニケーションを大切に、人としての成長や社会で生きる力を育んでもらい、子どもたちと指導者が成長できる環境をつくっていきたいと思います。



スポーツ少年 団のあり方

びわ地区スポーツ少年団
野球
指導者 森川 要治

スポーツ少年団は「遊びの提供」、「心身の育成」、「地域づくり」を理念としており、日本スポーツ協会のホームページでも、学区内の地域において活動する経験を通して成長することに本質があるとされています。

少子化により団員数が減少する中で活動が難しくなっています。が、技術の向上だけでなく、地域で活動することにも意義があり、単位団間の移籍など、クラブチーム化してしまふことで本来活動できた地域で活動が困難になることなど、様々な課題があると考えています。理念を念頭に、スポーツ少年団について改めて考える必要があると感じています。

指導者として 思うこと

南郷里地区スポーツ少年団
なんでも部
指導者 山口 正美

私も参加するなんでも部（総合）は、年間を通じていろんな種目を行う複合種目型です。ジュニア期に様々な種目を体験することは、スポーツの基礎を身につけるうえで大切な事です。また、身体的、精神的に無理がなく、意欲をもって参加できる活動である事です。

活動を通じてルールを学ぶ事で、粘り・やれるという頑張り、努力すること・耐えるという自信を一つずつ伸ばしてもらいたいと思います。主役は、子どもたちであり、のびのびと活動できる環境を作つてあげる事が指導者であり、サポートをしてもらえる保護者の方の協力が必要です。育てる指導、伸ばす言葉がかかせないです。

令和6年度日本スポーツ少年団顕彰受賞者

南郷里地区スポーツ少年団 松井 清市 様

令和6年度滋賀県スポーツ少年団表彰受賞者

育成功労者賞
南郷里地区スポーツ少年団

岩崎 康彦 様

奨励賞
びわ地区スポーツ少年団
南郷里地区スポーツ少年団

森川 要治 様
山口 正美 様

